

TPP：愛西市の影響は21億円

質問

菅内閣は、11月9日、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について「関係国との協議を開始する」と表明した。

TPPは、関税を原則撤廃し、農産物の輸入完全自由化を進めるものであり、日本農業と地域経済に深刻な打撃となる。日本共産党は、協議開始の撤回を強く求めている。

円喪失、国内生産額8.4兆円減、雇用は350万人減と発表した。

TPPに参加した場合、愛西市の影響、TPP参加について、市長の考えはどうか。

経済建設部長

TPPの影響について、主なものと減少率は、米で減少率が90%、減少額が14億6千700万円ほど。酪農が減少率75%で、2億8千500円の減少額になる。養豚が70%の減少率で3億2千900万円。あと鶏卵が18%で1千600万円ほどである。合わ



加藤敏彦 議員

せて、約21億円、愛西市の農業生産額93億8千万円の22.4%の減少額になる。

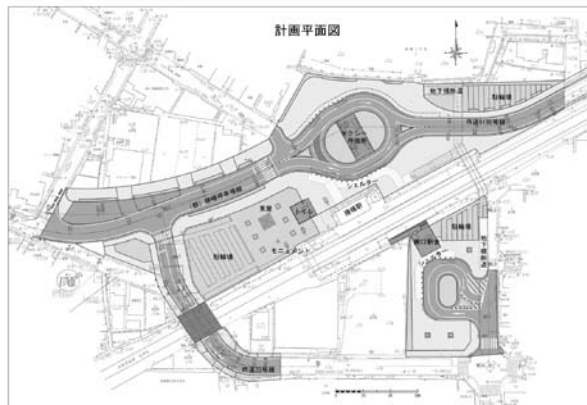
市長

現時点では、当然、参加は反対ということである。

勝幡駅西の踏切改良工事始まる

質問

勝幡駅前広場事業は、用地買収が完了し、仮設のロータリーも整備された。地元から「早く駅前広場事業を行って、まちを活性化して欲しい」という声が寄せられている。駅西の踏切は、佐織町時代



勝幡駅周辺整備事業 計画平面図

に、歩道の設置を求める署名1千12名が提出されている。具体的にどのように進められるか。駅前広場事業の工事について、工事計画、安全対策や排水対策についてどうなるか。関連して、勝幡小学校の校庭の拡張はどうなるか。

経済建設部長

踏切の計画は本年度に、取り付け道路は大部分工事を施工する。23年度、踏切自体については名鉄が実施する予定である。

駅前広場事業の工事については、23年度から一部工事を行い、25年度で完成という予定である。来年度、西側に駐輪場

教育部長

勝幡小学校のグラウンドの東南角が、一部クランクの状態になっているものを真っすぐにしたい。面積的に492㎡ほど予定している。工事の時期については24年度に計画している。

を整備し、仮設の駐輪場を横につくり、現在ある東側の駐輪場は取り壊して整地する。勝幡小学校の東と道路等については、今後検討していく中で対応を考えていく。

安全対策は、防犯カメラを地下道入り口や駅前広場に設置を予定している。

勝幡南地域の排水対策として、都市計画道路内にボックスを入れて計画している。